令和６年度　学校評価表

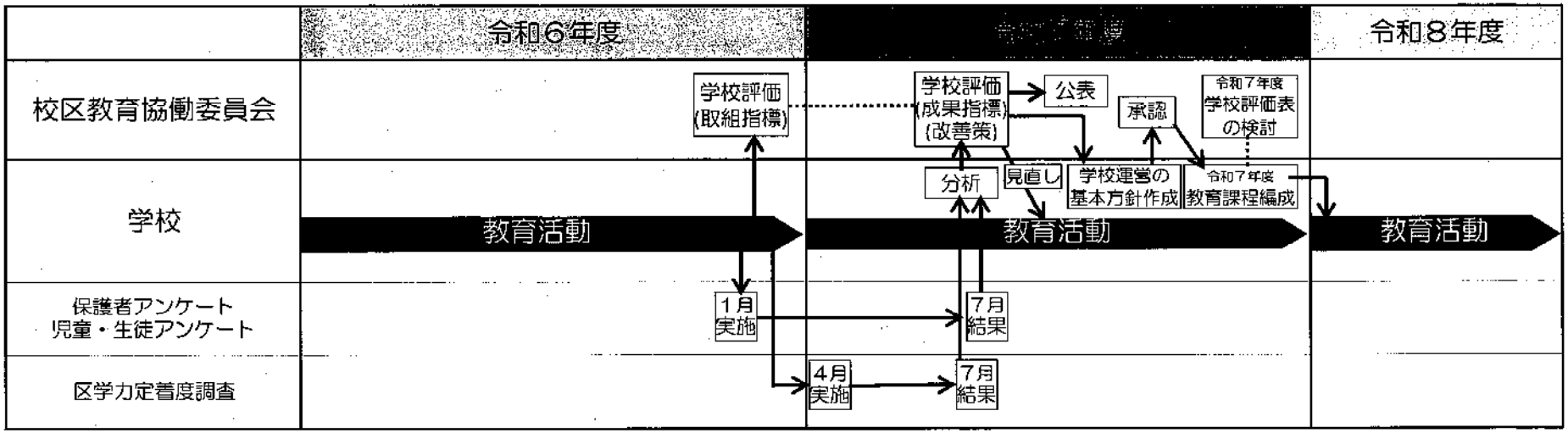
品川区立清水台小学校	校長	深尾	剛
清水台小学校校区教育協働委員会	委員長	山口	晃弘

校区教育協働委員会は、品川区校区教育協働委員会設置要綱（改正　令和5年３月２４日 教育長決定 要綱第５号）に基づき、次に掲げる事項について、学校評価を行っています。

(1) 学力に関すること。
(2) 人間性や社会性に関すること。
(3) 体力・健康に関すること。
(4) いじめ防止の取組に関すること。
(5) 特色ある教育活動に関すること。

学校評価を行う際、評価項目ごとに「成果指標」と「取組指標」を設定し、取組状況と取組によって表れた成果について把握しています。学校評価により浮き彫りになった学校の課題を委員会で共有し、改善策を考えました。
学校評価の結果を公表するとともに、今年度の取組の見直しや来年度の教育課程の編成に生かしていきます。

学校評価の流れ（※令和６年度の学校評価が令和７年度および令和８年度の教育活動につながる部分のみ表記しています。）



令和6年度　学校評価　品川区立清水台小学校

評価項目１　学力に関すること

重点目標	・主体的に学習に取り組み、自ら考え、判断、表現し、課題解決していく子を育てる ・自尊感情をもち、自他を大切にする子を育てる ・健康・安全を意識し、すすんで体を鍛える子を育てる

評価指標	最上段：成果指標 2段目以降：取組指標	最上段：成果指標の達成状況の説明 2段目以降：取組指標の達成状況の説明	評価	今後の課題と改善策
①基礎学力	区学力定着度調査において、2～6学年で全教科とも標準スコアが50以上になる。	区学力定着度調査において、2～6学年で全教科とも標準スコアが50以上の結果となった。国語は、同一集団の成長過程を見る「経年比較」ですべての学年で前年度より伸びが見られた。	B	・国語は、「漢字を書く」ことや、話や情報を正しく理解し、「文章を書く」ことに課題が見られる学年が多かった。読解力を付けるとともに、様々な場面、状況に合わせた記述活動を取り入れ、引き続き反復練習を行っていく。 ・算数は、問題の内容や情報を正しく読み取ることに課題が見られた。絵や文章の内容を正確に読み取り、正しく立式できるように練習問題に取り組む。
	朝の帯時間では、週2回は国語、週1回は算数に取り組ませる。計算・漢字だけではなく、文章題にも取り組ませる。	朝の時間帯について年間計画を作成し、「ことのはノート」「東京ベーシックドリル」「ワークシート」等を活用した指導を実施した。国語では、漢字の読み書き、言葉の学習、算数では、数と計算を中心として反復学習に取り組ませた。	A	
	「iPadを使って授業はわかるようになる。」の肯定率が全学年で80%を上回る。	「iPadを使って授業はわかるようになりましたか」の質問では、全学年肯定率80%以上の結果となった。	A	
②授業改善	アイ―チェック「好きな教科や授業がある」の肯定値が全学年全国値を上回る。	「好きな教科や授業がありますか」の質問では、全学年全国値をおおむね上回る結果となった。	B	・学習指導の狙いを明確にし、児童に目当てをもたせ、主体的かつ積極的に学習活動に取り組ませていく。 ・単元ごとに振り返りの時間をkならず設けるなど、学んだことが確実に定着できるよう校内研究などを通してお互いが学び合う機会を設けていく。
	アイ―チェック「めあてをもち、学習に取り組んでいる」が全学年全国値を上回る。	「めあてをもち、学習に取り組んでいる」質問では、全学年全国値をおおむね上回る結果となった。	B	
	アイ―チェック「勉強したことを振り返ることをおこなっていますか」が全学年全国値を上回る。	「勉強したことを振り返ることをおこなっていますか」の質問では、全学年全国値をおおむね上回る結果となった。	B	
③学習と読書習慣	アイ―チェック「家で週に何日ぐらい勉強しますか」の全学年肯全国値を上回る。	「家で、1週間に何日くらい勉強していますか」の質問では、全学年全国値を上回る結果となった。	A	・一人で宿題に取むことが難しい児童に対しては、家庭と連携をして家庭学習やタブレット端末を活用した学習を習慣づけていく。 ・高学年になるにつれて塾などに通う児童が多くなるため、日々の習慣として宿題や自主学習に取り組ませていく。 ・年2回読書旬間を設け、読み聞かせや図書委員会の取組等から、児童が読書の楽しさを味わい、読書習慣を身に付けさせる。
	漢字・計算の繰り返し学習や理科・社会の振り返り学習にタブレット端末のロイロノートを活用する。	ロイロノートを活用した繰り返しや振り返り学習、協働の学びなど、全学年通して増えている。特に中・高学年の機会が増えている。	B	
	図書室での1人あたりの年間貸し出し数が平均して50冊とする。	図書室での1人あたりの年間貸し出し数は、平均して30冊となった。	B	

令和6年度　学校評価　品川区立清水台小学校

評価項目２　人間性や社会性に関すること

重点目標	・主体的に学習に取り組み、自ら考え、判断、表現し、課題解決していく子を育てる ・自尊感情をもち、自他を大切にする子を育てる ・健康・安全を意識し、すすんで体を鍛える子を育てる		

評価指標	最上段：成果指標 2段目以降：取組指標	最上段：成果指標の達成状況の説明 2段目以降：取組指標の達成状況の説明	評価	今後の課題と改善策
①規範意識	アイ―チェック「学校やクラスのきまりを守っている」が全学年全国値を上回る。	「学校やクラスのきまりをまもっていますか」の質問では、全学年全国値を上回る結果となった。	A	・委員会やたてわり班活動などを通して、児童が主体的にあいさつに取り組めるよう指導し、家庭や地域と連携を図りながらあいさつの習慣を定着させていく。
	アイ―チェック「あいさつをしっかりしている」が全学年全国値をおおむね上回る。	「あいさつをしっかりしている」が全学年全国値に近い結果となった。	B	
②心の教育	アイ―チェックで友だちから「がんばったね」「すごいね」と褒められてうれしかったことがあるが全国値を上回る。	アイ―チェックで友だちから「がんばったね」「すごいね」と褒められてうれしかったことがあるのが全学年全国値をおおむね上回る結果となった。	B	・先生や友達のささえを受けることができる思いやりあふれる学級風土や学校風土を築いていく。
	アイ―チェック「悲しかった時、友達から慰めてもらって、うれしかったことがある」が全学年全国値を上回る。	悲しかった時、友達から慰めてもらって、うれしかったことがありますかの質問では、全学年全国値をおおむね上回る結果となった。	B	
③自尊感情	アイ―チェック「自分にはいいところがあると思う（思いやり、明るさ、まとめる力、責任感、努力など）の全学年全国値を上回る。	アイ―チェック「自分にはいいところがあると思う（思いやり、明るさ、まとめる力、責任感、努力など）の全学年全国値を上回る結果となった。	A	・学校や学校以外の場所でも成功体験が増やせるような機会を多く設けていく。そして、児童の充実感や向上心につなげていく。
	アイ―チェック「勉強や運動、習い事などで、頑張っていることがある」が全学年全国値を上回る。	勉強や運動、習い事などで、頑張っていることがありますかの質問では、全学年全国値を上回る結果となった。	A	
	縦割り班活動等を通して、成功体験や感動体験を積ませて児童に自信をもたせる。また、自他のよさについて認め合う活動を取り入れる。	縦割り班遊びや清掃等のかかわりを通して、縦割り班の経験を多く積ませ、自他の良さについて認め合い、自信につながっている。	A	

A＝十分達成できた　B＝おおむね達成できた　C＝未達成

令和６年度　学校評価　品川区立清水台小学校

評価項目３　体力・健康に関すること

重点目標	・主体的に学習に取り組み、自ら考え、判断、表現し、課題解決していく子を育てる ・自尊感情をもち、自他を大切にする子を育てる ・健康・安全を意識し、すすんで体を鍛える子を育てる		
評価指標	最上段：成果指標 2段目以降：取組指標	最上段：成果指標の達成状況の説明 2段目以降：取組指標の達成状況の説明	評価	今後の課題と改善策
①体力向上	アイ―チェック「学校の授業以外で週に何日くらい運動していますか」の肯定率が全学年全国値を上回る。	学校の授業以外で週に何日くらい運動していますかの質問では、全学年全国値をおおむね上回る結果となった。	B	・晴れた日は、必ず外遊びをするよう学校全体で奨励し、教員自ら児童と一緒に外に出て遊んでいく。さらには、家庭と連携を図りながら放課後等の遊びも充実していくようにする。
	区の体力向上施策の計画的な実施と朝や休み時間における外遊びを奨励していく。	晴れた日は、必ず外遊びをするよう学校全体で奨励している。休み時間等に進んで体を動かしているの質問では全学年肯定率が80%を上回る結果となった。	A	
②食習慣	アイ―チェック「朝食を毎日食べている」が全学年全国値を上回る。	朝ごはんを毎日食べますかの質問では、全学年が全国値を上回る結果となった。	A	・家庭と連携を図りながら食育推進・充実を図るとともに、食と健康づくりに関心をもつ児童を育てていく。
	年間通して、給食の残菜が全学年で10%を下回る。	給食の残菜は、全学年5%を下回る結果となった。	A	
	食に関する年間指導計画に基づき、食育推進・充実を図るとともに、食と健康づくりに関心をもつ児童を育てる。	1年生がグリンピース、2年生はトウモロコシと給食食材に触れる活動を実施した。6年生は、家庭科の学習を通して、給食の献立作りに取り組んだ。	A	
③基本的生活習慣	アイ―チェック「朝は自分で起きている」が全学年全国値を上回る。	「朝は自分で起きているか」の質問では、全学年おおむね全国値を上回る結果となった。	B	・家庭と連携を図りながら、児童が主体的に「早寝・早起き・朝ごはん」や「事前準備」が毎日の習慣となって取り組むことができるよう指導していく。
	アイ―チェック「学校に行く前に忘れ物がないか、自分で確かめている」が全学年全国値を上回る。	「学校に行く前に忘れ物がないか、自分で確かめているか」の質問では、全学年全国値をおおむね上回る結果となった。	B	

A＝十分達成できた　B＝おおむね達成できた　C＝未達成

令和６年度　学校評価　品川区立清水台小学校

評価項目４　いじめの防止の取組に関すること

重点目標	・主体的に学習に取り組み、自ら考え、判断、表現し、課題解決していく子を育てる ・自尊感情をもち、自他を大切にする子を育てる ・健康・安全を意識し、すすんで体を鍛える子を育てる		

評価指標	最上段：成果指標 2段目以降：取組指標	最上段：成果指標の達成状況の説明 2段目以降：取組指標の達成状況の説明	評価	今後の課題と改善策
①学級風土	アイ―チェック「いまのクラスが好きです」が全学年全国値に近い。	「今のクラスが好きですか」の質問では、全学年全国値に近い結果となった。	B	・「清水台小の一日」や「学習スタンダード」を学校全体で周知徹底していく。経験年数の異なる教員同士がOJT研修などを通して学級経営や規範意識について学び合う機会を設ける。
	アイ―チェック「クラスではみんなが当番や係の仕事をきちんとやる」が全学年全国値を上回る。	「クラスではみんなが当番や係の仕事をきちんとやっていますか」の質問では、全学年全国値を上回る結果となった。	A	
②リスク管理	アイ―チェック「自分がいついじめのターゲットになってしまうか？不安を感じることがない」が全学年全国値を上回る。	「自分がいついじめのターゲットになってしまうか？不安を感じることがあるの「ない」との回答が全学年全国値をおおむね上回る結果となった。	B	・引き続きスクールカウンセラーや関係諸機関と連携し、「いじめのサイン」の早期対応・未然防止に努める。いじめが確認された場合は、「いじめ対策委員会」を開き組織的に対応していく。 ・毎朝、デイケン（心と体の連絡帳）を通してすべての児童をすべての教職員で育てていく。問題を一人で抱え込まない校内体制の充実を図る。
	いじめを含めた生活指導上の問題に対し、生活指導部を中心に組織的に対応する。	日々デイケンやニコリなどを通して児童の悩みに対し確認・対応している。場合によっては、組織委員会を立ち上げ対応した。	A	
	不登校児童に対し、スクールカウンセラーや関係諸機関と連携し、早期発見・早期対応に努める。	不登校児童に対し、スクールカウンセラーやハーツ、マイスクール、バーチャルプラットフォーム、学校と家庭の連携支援員等と連携を密に図り、児童をサポートした。	A	
③自他の尊重	アイ―チェック「友だちからほめられたことがある」が全学年全国値を上回る。	「友だちからほめられたことがある」の質問で全学年全国値をおおむね上回る結果となった。	B	・「ふれあい月間」では、学校全体を通して友達のよさを見つけ合い、認め合う取り組みを行う。
	アイ―チェック「「友だちに元気がないときに声をかけてあげます」が全学年全国値を上回る。	「友だちに元気がないときに声をかけてあげますか」の質問では、全学年全国値をおおむね上回る結果となった。	B	
	アイ―チェック「困っている友達がいたら、手伝ってあげます」が全学年全国値を上回る。	「困っている友達がいたら、手伝ってあげますか」の質問では、全学年全国値をおおむね上回る結果となった。	B	

A＝十分達成できた　B＝おおむね達成できた　C＝未達成

令和６年度　学校評価　品川区立清水台小学校

公開

評価項目●　（特色ある教育活動に関すること）

重点目標	・主体的に学習に取り組み、自ら考え、判断、表現し、課題解決していく子を育てる ・自尊感情をもち、自他を大切にする子を育てる ・健康・安全を意識し、すすんで体を鍛える子を育てる

評価指標	最上段：成果指標 2段目以降：取組指標	最上段：成果指標の達成状況の説明 2段目以降：取組指標の達成状況の説明	評価	今後の課題と改善策
①家庭・地域	「学校は、教育方針、重点目標をもとに、一人一人を大切にした教育活動を行っている。」の肯定的回答が80%を上回る。	「学校は、教育方針、重点目標をもとに、一人一人を大切にした教育活動を行っているか」の質問では、肯定的回答が80%を上回る結果となった。	A	・ホームページやメール、行事や学校公開、保護者会、面談等を通して、本校の教育活動や児童の様子について随時情報を提供し、「開かれた学校」を目指し努めていく。
	「学校はホームページやお便り、メール等で、保護者に学校の様子を提供している」のの肯定的回答が80%を上回る。	「学校はホームページやお便り、メール等で、保護者に学校の様子を提供しているか」の質問では、肯定的回答が80%を上回る結果となった。	A	
	「品川コミュニティ・スクールは良い取り組みだと感じる」では、肯定的回答が80%を上回る。	「品川コミュニティ・スクールは良い取り組みだと感じる」質問では、肯定的回答が80%を上回る結果となった。	A	
②国際理解・表現活動の充実	多文化について理解をすることは大切だと思うの学校肯定率回答が80%を超える。	「多文化について理解をすることは大切だと思うか」の質問では、学校肯定率が80%を上回る結果となった。	A	・多文化や多様性の重要性を理解させ、活動を通して慣れ親しみ、表現活動を楽しめるよう、様々な国際交流活動や行事などの充実と機会を多くつくっていく。
	国際交流活動を通して、外国の文化や立場を理解し尊重する態度を養う。また、茶道や和楽器に親しむことで日本の伝統と文化への理解と誇りを育てる。	4年生は、TGGで1日体験を行い、外国人スタッフと交流を楽しんだ。5年生は、和楽器（琴）、5・6年生は、柔道と日本の伝統文化を学ぶ授業を行い、直接体験することで理解を深めた。1～3年生は、ALTといっしょに英語に慣れ親しむことができた。	A	
	運動会や地域の祭りなどでのマーチング演奏や表現運動、音楽会に向けた取組を通じて、表現する楽しさや喜びを味わい、理解させる。	・5・6年生は、運動会や地域の祭りでマーチング・フラッグの演奏と演技を披露し、校内外の発表の場を経験した。学芸会の演技を保護者の方に参観していただくことができた。	A	

A＝十分達成できた　B＝おおむね達成できた　C＝未達成